



子育て・教育・福祉 部会資料

施策2-2-1「生きる力」を伸ばし、人間としての 在り方生き方の軸をつくる教育の推進

教育委員会事務局
平成29年5月

資料をご覧いただく上での注意事項

この資料は、平成29年5月22日に行われた平成29年度川崎市政策評価審査委員会第1部会の資料ですが、成果指標等の数値について、部会の時点では未確定であったもので、平成29年8月の時点で確定した際に数値が更新されているものなどについて、資料中に注記を加えております。

施策の概要

概要 背景 取組 成果 まとめ

基本政策(1層) 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

政策(2層) 未来を担う人材を育成する

施策(3層) 「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進

直接目標 すべての子どもが社会で自立して生きていくための基礎を培う学校をつくる

主な事務事業

キャリア在り方生き方教育推進事業	読書のまち・かわさき推進事業	中学校給食推進事業
学力調査・授業改善研究事業	子どもの音楽活動推進事業	学校給食運営事業
きめ細やかな指導推進事業	人権尊重教育推進事業	教育の情報化推進事業
英語教育推進事業	多文化共生教育推進事業	魅力ある高校教育の推進事業
理科教育推進事業	子どもの体力向上推進事業	中高一貫教育推進事業
小中連携教育推進事業	健康教育推進事業	

実施計画に位置付けた成果指標

概要 背景 取組 成果 まとめ

成果指標①

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合

指標の考え方

自分の中の肯定的なイメージをもつことは、自分自身を成長させることができ、向上心につながり、人生を充実させることができるものである。自尊感情を表す数値として、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦をしている」児童生徒の割合を見ることで、すべての子どもが社会で自立して生きていくための基礎を培う学校をつくるための取組の成果を測ることができる。

成果指標②

「授業が分かる、どちらかといえば分かる」と回答した児童生徒の割合

指標の考え方

子どもたちが「授業が分かる」ことは学習意欲の向上に資するものであり、「生きる力」の育成、ひいては社会的自立につながるものであるため、「授業が分かる」児童生徒の割合を見ることで、すべての子どもが社会で自立して生きていくための基礎を培う学校をつくるための取組の成果を測ることができる。

成果指標③

体力テストの結果

指標の考え方

体力テストは全国で同じ基準で実施するため、地域性の違いの少ない神奈川県との平均値との比較をすることにより、本市における子どもの体力の状況の変化や施策の効果の成果を測ることができる。

実施計画に位置付けた成果指標

概要 背景 取組 成果 まとめ

成果指標①

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合

算出方法

市立校の全小中学生の対象学年の児童生徒の平均値

指標の考え方

自分の中の肯定的なイメージをもつことは、自分自身を成長させることができ、向上心につながり、人生を充実させることができるものである。自尊感情を表す数値として、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦をしている」児童生徒の割合を見ることで、すべての子どもが社会で自立して生きていくための基礎を培う学校をつくるための取組の成果を測ることができる。

指標の目標値

小6 75.9%
中3 66.7%
(H26)

小6 77.0%以上
中3 68.0%以上
(H29)

第1期実施計画の取組状況を踏まえて、よりよい状況の実現に向けて目標値を定め、目標達成に向けて取り組みます。

目標値の考え方

すべての子どもが積極的に活動し、主体的に物事に取り組めることを目標にして取り組む。H26 全国学力・学習状況調査においては、小学校については、全国平均(75.1%)を既に上回っているが、さらに多くの子どもが積極的に活動できるように、段階的な向上をめざす。中学校については、全国平均(68.0%)を下回っていることから、第1期までに全国水準まで引き上げ、以降、更なる向上をめざす。

実施計画に位置付けた成果指標

概要 背景 取組 成果 まとめ

成果指標② 「授業が分かる、どちらかといえば分かる」と回答した児童生徒の割合						
算出方法	市立校の全小中学生の対象学年児童生徒の平均値 (小学校5年生:国語・算数・理科・社会、 中学校2年生:国語・数学・社会・理科・英語の各教科の平均)					
指標の考え方	子どもたちが「授業が分かる」ことは学習意欲の向上に資するものであり、「生きる力」の育成、ひいては社会的自立につながるものであるため、「授業が分かる」児童生徒の割合を見ることで、すべての子どもが社会で自立して生きていくための基礎を培う学校をつくるための取組の成果を測ることができる。					
指標の目標値	<table border="1"> <tr> <td>小5 88.3%</td> <td>小5 90.0%以上</td> <td rowspan="2">第1期実施計画の取組状況を踏まえて、よりよい状況の実現に向けて目標値を定め、目標達成に向けて取り組みます。</td> </tr> <tr> <td>中2 73.4% (H26)</td> <td>中2 75.0%以上 (H29)</td> </tr> </table>	小5 88.3%	小5 90.0%以上	第1期実施計画の取組状況を踏まえて、よりよい状況の実現に向けて目標値を定め、目標達成に向けて取り組みます。	中2 73.4% (H26)	中2 75.0%以上 (H29)
小5 88.3%	小5 90.0%以上	第1期実施計画の取組状況を踏まえて、よりよい状況の実現に向けて目標値を定め、目標達成に向けて取り組みます。				
中2 73.4% (H26)	中2 75.0%以上 (H29)					
目標値の考え方	H26 全国学力・学習状況調査においては、小学校は全国平均(79.9%)を上回り、中学校においても全国平均(71.8%)を下回っているものの、全国とほぼ同程度の結果となっている。これらを踏まえ、小学校・中学校ともに更なる向上をめざし、段階的に数値を引き上げていくことを目標とする。 ※全国平均は、小学校6年生:国語・算数、中学校3年生:国語・数学の平均値					

実施計画に位置付けた成果指標

概要 背景 取組 成果 まとめ

成果指標③ 体力テストの結果																					
算出方法	小5男 川崎市(52.34点)／神奈川県(52.49点)×100 小5女 川崎市(52.13点)／神奈川県(52.47点)×100 中2男 川崎市(37.10点)／神奈川県(39.92点)×100 中2女 川崎市(43.64点)／神奈川県(46.18点)×100 ※神奈川県の前年度(体力合計点)を100とした際の本市の割合 ※体力合計点は、種目ごとの測定値を点数化(10点満点)し、その合計点を平均したもの【実施種目】 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、持久走(中学生はシャトルランとの選択実施)、50m走、立幅跳び、ソフトボール投げ(小学生)、ハンドボール(中学生)																				
指標の考え方	体力テストは全国で同じ基準で実施するため、地域性の違いの少ない神奈川県の前年度との比較をすることにより、本市における子どもの体力の状況の変化や施策の効果の測ることができる。																				
指標の目標値	<table border="1"> <tr> <td>小5男 99.7</td> <td>小5男 100以上</td> <td>小5男 100以上</td> <td>小5男 100以上</td> </tr> <tr> <td>小5女 99.4</td> <td>小5女 100以上</td> <td>小5女 100以上</td> <td>小5女 100以上</td> </tr> <tr> <td>中2男 92.9</td> <td>中2男 100以上</td> <td>中2男 100以上</td> <td>中2男 100以上</td> </tr> <tr> <td>中2女 94.5</td> <td>中2女 100以上</td> <td>中2女 100以上</td> <td>中2女 100以上</td> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>(H29)</td> <td>(H33)</td> <td>(H37)</td> </tr> </table>	小5男 99.7	小5男 100以上	小5男 100以上	小5男 100以上	小5女 99.4	小5女 100以上	小5女 100以上	小5女 100以上	中2男 92.9	中2男 100以上	中2男 100以上	中2男 100以上	中2女 94.5	中2女 100以上	中2女 100以上	中2女 100以上	(H26)	(H29)	(H33)	(H37)
小5男 99.7	小5男 100以上	小5男 100以上	小5男 100以上																		
小5女 99.4	小5女 100以上	小5女 100以上	小5女 100以上																		
中2男 92.9	中2男 100以上	中2男 100以上	中2男 100以上																		
中2女 94.5	中2女 100以上	中2女 100以上	中2女 100以上																		
(H26)	(H29)	(H33)	(H37)																		
目標値の考え方	神奈川県の前年度を下回っている現状においては、県平均の水準まで改善していくことを目標とする。																				

子どもたちを取り巻く状況の変化

- 社会が激しく変化する時代において、将来を見据えると、多くの課題が存在します。

社会の変化

- 情報化
- グローバル化
- 少子高齢化
- 消費社会
- 雇用形態の多様化
- 知識基盤社会



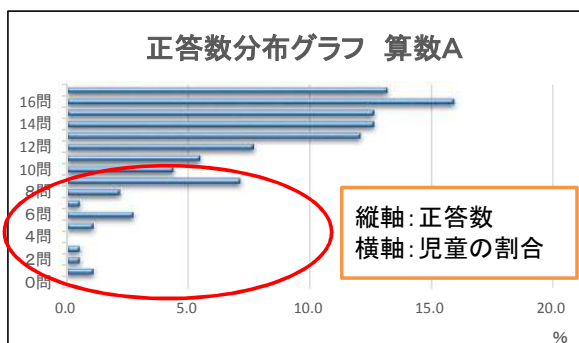
このような状況の中、願うのは

- どのような社会状況においても、夢や希望を抱き、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動しながら、いきいきと躍動する市民の姿
- 市民一人ひとりがお互いを尊重し、支え合い、高め合いながら共に生きる社会の姿

川崎市の子どもの学力・学習状況の現状と課題

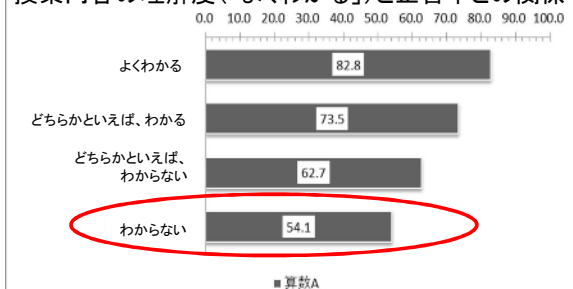
- 学習指導要領が示す「確かな学力」を育成するために、かわさき教育プランの基本政策Ⅱ「学ぶ意欲を育て、『生きる力』を伸ばす」において、すべての子どもがわかることを目指しています。
- すべての子どもたちが「授業がわかる」を実感することを目指した、一人ひとりの「学び」を大切にしたい授業づくりを進めていくことが、求められています。

H27年度 全国学力・学習状況調査から



全16問中、正答数1～9問の児童が約20%存在。

授業内容の理解度(「よくわかる」と正答率との関係



「わからない」と回答している児童ほど、正答率が低い。

川崎市の子どもの体力の現状と課題

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると、本市において、「運動が好き、やや好き」とする児童生徒の割合は、全国平均とほとんど変わらないが、中学生は、やや全国平均を下回り、特に女子の割合は男子と比べて低い傾向にあります。
- 1週間の総運動時間は、小学生が全国平均を下回っているが、中学生は大きく上回っており、本市の運動部活動の高い加入率などが背景にあると考えられます。
- 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、特に中学生女子の割合が高く、運動する子としない子の2極化がみられます。

「運動が好き、やや好き」と答えた児童生徒の割合

	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
全国	93.4%	87.7%	89.0%	78.4%
川崎市	93.2%	88.4%	87.9%	78.0%

1週間の総運動時間(平均)

大きく上回っている

	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
全国	602.9分	370.3分	964.3分	685.2分
川崎市	577.4分	352.6分	1034.6分	797.7分

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の比率

女子の2極化

	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
全国	6.6%	11.6%	6.4%	20.6%
川崎市	6.4%	12.2%	7.9%	20.6%

キャリア在り方生き方教育の推進

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 教育の在り方を幅広く見直し、これまでの取組を価値づけ、改革していくための取組である「キャリア在り方生き方教育」を推進しています。

「キャリア在り方生き方教育」とは

一人ひとりの将来の社会的自立に向け、必要な能力や態度を育てる教育です。

3つの視点で子どもたちを育みます

自分をつくる

学ぶことや様々な体験を通して、自立の主体である自分自身に対して自信をもち、自己を高めます。

みんな一緒に 生きている

互いの人格を尊重し、協力、協働して社会を積極的に形成していく力を身に付けます。

わたしたちの まち 川崎

心のよりどころとしてのふるさと川崎への愛着を深め、郷土への誇りをもちます。

キャリア在り方生き方教育の推進

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 教育の在り方を幅広く見直し、これまでの取組を価値づけ、改革していくための取組である「キャリア在り方生き方教育」を推進しています。

各学校の取組例

地域の人との関わりを通して



キャリア在り方生き方ノートを活用して



小中連携を通して9年間を見通して

キャリア在り方生き方教育の推進(実践例)

概要 背景 取組 成果 まとめ

キャリア在り方生き方ノートの活用例(コミュニケーション)

8 ことば マスターになろう

その場に ふさわしい 言葉づかいが あります。 尋の 語の 意味 結構 づかいは、どうですか?

「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」

「いただきます」
「いただきます」
「いただきます」
「いただきます」

「ごめんなさい」
「ごめんなさい」
「ごめんなさい」
「ごめんなさい」

「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」

「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」

「いただきます」
「いただきます」
「いただきます」
「いただきます」

「ごめんなさい」
「ごめんなさい」
「ごめんなさい」
「ごめんなさい」

「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」

ふれあい (小学校1・2年)

キャリア在り方生き方教育の推進(実践例)

概要 背景 取組 成果 まとめ

キャリア在り方生き方ノートの実用例(コミュニケーション)

9 気持ちが伝わる聞き方・話し方

相手と気持ちよく会話するために、じょうずな聞き方、話し方があります。

聞き方のポイント

- 相手のほうを向いて聞く。
- あいづちを打ちながら聞く。
- 相手の気持ちになって聞く。
- 最後まで聞く。

話し方のポイント

- 相手のほうを向いて話す。
- その場にあった声の大ききで話す。
- 心に余裕のあることを言ってから、話をする。
- わかりやすく話す。

例え、「うんうん」「はい」「すごい」など、いろいろあります。

ほかにも、考えてみましょう。

書いてみましょう 「昨日の出来事」を、友達と話し合ってみましょう。次の「聞き方・話し方」では、どんな感じができましたか。やってみましょう。

相手の話を自分に向けられた時、どんな感じがしましたか。

うん うん 話し

相手の話につづきがある時、どんな感じがしましたか。

うん うん 話し

相手の話より前の時、どんな感じがしましたか。

うん うん 話し

相手が、せまを向けた時、どんな感じがしましたか。

うん うん 話し

※HP公表時追記

コミュニケーションスキル等、社会的自立に必要な力の向上につながる内容を児童生徒の成長の段階に応じた形で各ノートに掲載しています。

ひろがり
(小学校3・4年)

キャリア在り方生き方教育の推進(実践例)

概要 背景 取組 成果 まとめ

キャリア在り方生き方ノートの実用例(コミュニケーション)

12 じょうずな聞き方・話し方

よい人間関係をつくるには、じょうずな聞き方・話し方を身に付けることが大切です。相手の表情や様子を見ることも大切です。

聞き方のポイント

- 相手のほうを向いて聞く。
- あいづちや返事をしながら聞く。
- 最後まで聞く。
- 適切な質問をする。
- 笑顔でじっくり聞く。

話し方のポイント

- 相手のほうを向いて話す。
- その場にあった声の大ききで話す。
- 先に大切なことを言ってから、理由を言う。
- 相手にわかりやすい言葉で話す。
- ゆっくり話す。

例え、「うんうん」「はい」「すごい」など、いろいろあります。

ほかにも、考えてみましょう。

書いてみましょう 「昨日の出来事」について、じょうずな聞き方や話し方を友達とやってみましょう。考えた「あいづちや返事」なども使ってください。

※HP公表時追記

家庭で保護者とともに考えることもできるように作成しています。

つながり
(小学校5・6年
中学校1年)

キャリア在り方生き方教育の推進(実践例)

概要 背景 取組 成果 まとめ

キャリア在り方生き方ノートの活用例(コミュニケーション)

はばたき
(中学校2・3年)

キャリア在り方生き方教育の推進(実践例)

概要 背景 取組 成果 まとめ

キャリア在り方生き方ノートの活用例(コミュニケーション)

成長段階に応じたノートの活用

子どもたちの自尊感情や規範意識、人と関わる力等の基礎的・汎用的能力を小学校段階から系統的・計画的に育むため、学校ごとに3つの視点で教育活動を見直し、育てたい力を重点化していきます。

キャリア在り方生き方教育の推進

概要 背景 取組 成果 まとめ

全校での実施を支援します

- 「キャリア在り方生き方教育」に関する研修の実施やリーフレットによる啓発、研究推進校における検証の他、小学校・中学校・特別支援学校(小学部・中学部)の子どもたちに「キャリア在り方生き方ノート」を配付して、実施を支援しています。



キャリア在り方生き方ノート



保護者用リーフレット

研 修	学校訪問研修	約50校
	全校種担当者研修	7回



担当者研修会

※部会時点の見込み値であり、確定値は以下のとおりです。
学校訪問研修：58校

すべての児童生徒がわかることを目指して

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 算数・数学において習熟の程度に応じたきめ細やかな指導を行っています。

学習集団の分け方



きめ細やかな指導の実施方法



学習のどの場面で取り入れるかを検討する。

児童・生徒の学習状況を把握する。

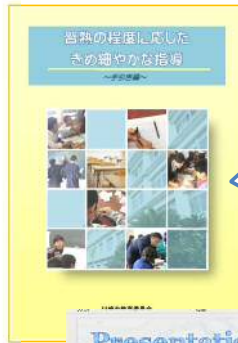
コースを設定し、指導方法を工夫して実践する。

きめ細やかな指導の推進

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 川崎市立学校において、きめ細やかな指導を広めていくために、様々な継続的な取組を行っています。

〈取組の例〉



【教員向け手引書の作成】
理論や指導事例、実践報告等を掲載した手引書を平成28年3月に発行。



【各校の担当者への説明】
校内の指導体制の充実に向けた担当者会を年3回実施。

【研究推進校での取組】
平成28年度は小学校3校、中学校3校で実践的な研究を行い、全市に取組を報告。

この他にも、学校現場での指導主事による指導・支援等を行っています。

きめ細やかな指導の実施校

概要 背景 取組 成果 まとめ

- きめ細やかな指導推進事業については、習熟の程度に応じたきめ細やかな指導の実施校が増加しています。

習熟の程度に応じたきめ細やかな指導 実施校の推移



- 平成28年度までの研究推進校での取組を総括するとともに、平成29年度からは全小中学校で少人数指導を取り入れます。

子どもの体力向上のための取組

概要 背景 **取組** 成果 まとめ

- 「運動に積極的に取り組む子どもと、そうでない子どもとの二極化」を解消するため、子ども達が「わかる・できる」体育の授業や休み時間等を活用した運動遊びの実践を通じて、運動することの心地よさや楽しさ、仲間と一緒にやることの楽しさを十分に味わい、日常的に運動に親しむ態度を培うための取組を進めてきました。



「子供の体力向上課題対策プロジェクト」の実践

- ・地域のスポーツクラブから、小学校に体育指導のコーディネーターを派遣
- ・企業の協力の下、機器を活用した1分間縄跳びの測定及び結果の活用
- ・運動の日常化に向けたキラキラタイム(スポーツイベント)の充実
- ・地域のスポーツチームより、外部指導者を派遣し、アメリカンフットボール体験、サッカー教室、フラッグフット教室を開催



「武道等指導充実・資質向上支援事業」の実践

- ・中学校の武道の授業に、外部指導者として、武道系の部活に在籍している大学生を派遣
- ・小学校の水泳の授業に、地域のスポーツクラブより、水泳の外部指導者を派遣

中学校完全給食実施に向けた取組

概要 背景 **取組** 成果 まとめ

➤ 安全・安心で温かい中学校給食

- **開始時期** 平成28年度一部実施・・・自校方式2校、小中合築校方式2校
平成29年度全校実施・・・センター方式48校

- **実施手法** 民間活力を活かした効率的な手法

- ・市有地を活用し、PFI手法により学校給食センター3箇所設置
- ・自校方式及び小中合築校方式は、公設民営又は既存のPFI事業の契約変更

➤ 中学校給食の目指す姿

朝食の欠食や若者の野菜不足、肥満男性の増加と若い女性の過度の「やせ」志向といった食生活の課題に対応するため、中学校給食は、「みんなで創る『健康給食』」を目指して、以下のような給食の実現を図っていきます。

- ①とにかく「**美味しい**」中学校給食
主要食材国産率100%、薄味だけど美味しい味付け
- ②自然と「**健康**」になる中学校給食
米飯給食メイン、国産野菜たっぷり
- ③みんなが「**大好きな**」中学校給食
生徒や保護者からのレシピ募集など



東橘中学校(小中合築校)
給食時間の様子

成果指標①の達成状況

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合

- 小学校については、全国平均(76.1%)を上回っていますが、さらに多くの子どもが積極的に活動できるように、向上をめざします。
- 中学校については、全国平均(69.6%)をやや下回っているものの、H29年度の設定指標は既に上回っており、向上が見られます。

指標の実績値	小6 75.9%	小6 78.0%	小6 77.0%以上
	中3 66.7% (H26)	中3 69.3% (H28)	中3 68.0%以上 (H29目標)

自尊感情を高め、それぞれの個性、持ち味を発揮できるように

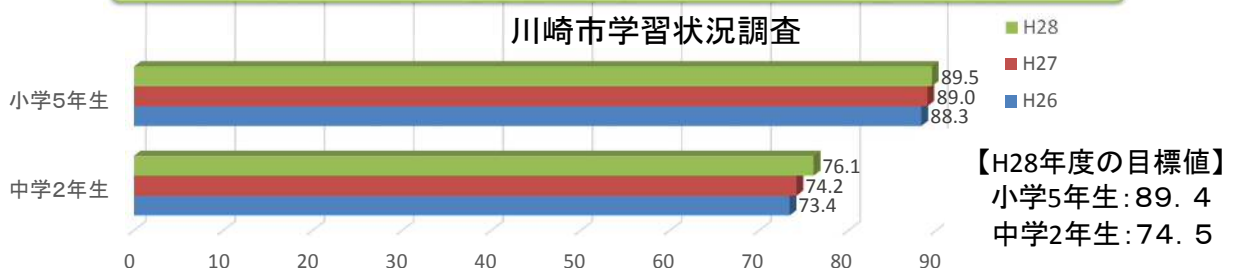
- 自分の中の肯定的なイメージをもつことは、自尊感情を高め、自分自身を成長させることや向上心につながり、人生を充実させることができるものです。
- 児童生徒の「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していこう」という気持ちを育て、すべての子どもが社会で自立して生きていくための基礎を培う学校づくりが必要です。
- 児童生徒のキャリア発達には時間がかかるものですが、推進を継続し、更なる向上をめざします。

成果指標②の達成状況

「授業が分かる、どちらかといえば分かる」と回答した児童生徒の割合

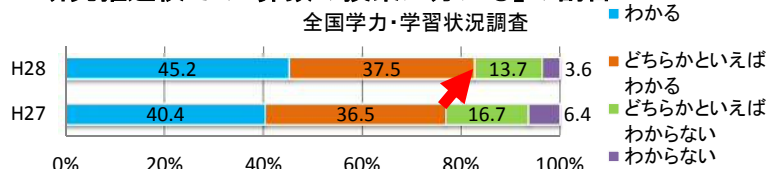
- 「授業が分かる」と回答した児童生徒の割合が数値目標を達成しています。

児童生徒の実態～「授業が分かる」と回答



※HP公表時追記

研究推進校での「算数の授業が分かる」の割合



【研究推進校の成果】

76.9%から82.7%へ増加しており、学習内容や単元に応じたきめ細やかな指導の取入による効果が表れている。

成果指標③の達成状況

体力テストの結果

- 平成28年度新体カテットの結果は、小学校5年生男子、小学校5年生女子とも目標値を達成しています。中学校2年生男子、中学校2年生女子は、いずれも緩やかな向上傾向を示していますが、目標値には達しておらず、特にこの年齢層への体力向上の取組に課題があります。

新体カテットの経年比較と成果指標

	年度	川崎市	神奈川県	成果指標
小学校 5年生 男子	H26	52.34	52.49	99.7
	H27	52.42	52.44	100.0
	H28	52.91	52.92	100.0

達成

	年度	川崎市	神奈川県	成果指標
小学校 5年生 女子	H26	52.13	52.47	99.4
	H27	52.89	52.61	100.5
	H28	53.81	53.69	100.2

達成

	年度	川崎市	神奈川県	成果指標
中学校 2年生 男子	H26	37.10	39.92	92.9
	H27	37.47	40.33	92.9
	H28	37.39	40.14	93.1

未達成

	年度	川崎市	神奈川県	成果指標
中学校 2年生 女子	H26	43.64	46.18	94.5
	H27	44.25	46.55	95.1
	H28	44.70	46.89	95.3

未達成

施策の進捗状況

施策の進捗状況 A 順調に推移(目標達成している)

理由

- ① キャリア在り方生き方教育の全市での実施は目標通りに達成していますが、児童生徒のキャリア形成のためには各学校における取組の改善と継続が必要であり、今後も実情に応じた学校支援や研修を継続して事業を推進します。
- ② きめ細やかな指導推進事業については、成果指標である授業が「分かる」と回答した児童の割合が数値目標に達成していることや、習熟の程度に応じたきめ細やかな指導の実施校が増加していることから順調に推移していると考えます。
- ③ 体力テストの結果は、小学校は数値目標に到達しており、中学生は到達していないものの、経年変化では緩やかに上昇傾向が見られています。
- ④ 平成29年1月から、自校方式2校、小中合築方式2校で中学校完全給食を実施するなど、着実に事業を推進しました。

【施策の進捗状況区分】 A 順調に推移(目標達成している)、B 一定の進捗がある(目標達成に向けて進捗している)
C 進捗は遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)、D 進捗は大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

今後の方向性

I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する)

理由

- ① キャリア教育については次期学習指導要領にもその視点が盛り込まれていることから、現在の取組を継続して進めていきます。
- ② きめ細やかな指導推進事業については、掲げた目標どおりに進捗していることから継続した取組が必要ですが、一人ひとりの多様な学習状況に応じた効果的な学びを進めるためには事業の工夫が必要です。
- ③ 子どもの体力向上推進事業については、体力テストの数値が概ね上昇傾向を示していることから、現在取り組んでいる事業を継続して進めてまいります。
- ④ 引き続き、「川崎市立中学校完全給食実施方針」に基づき、平成29年度中の中学校完全給食全校実施に向け、事業を継続実施します。

【今後の方向性区分】 I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する)、II 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)
III あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい)、IV 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市